

音楽科

1 昨年度の授業改善プランの検証【成果（○）と課題（●）】

知識・技能

- 音楽を形づくっている要素（音色・速度・旋律・強弱・音の重なり・和音の響き・音階・調・拍・フレーズ・反復・呼びかけとこたえ・変化・音楽の縦と横との関係）に着目し、要素の特徴を見付けたり、要素の働きのよさや面白さを感じ取ったりすることを通して知識を身に付けることができた。
また、音楽会に向けて歌唱や楽器演奏の技能を伸ばすことができた。
- 楽曲の特徴に気付いたり理解したりする力を高めるために、聴き取ったことや感じ取ったことを関連させて言葉で表す活動を更に増やす必要がある。

思考・判断・表現

- 友達の演奏や鑑賞曲を聴いて感じ取ったことを、音楽を特徴付けている要素を支えとしながら自分の言葉で伝えられる児童が増えてきた。
- 音楽を特徴付けている要素を基に、歌詞の表す内容や曲想を、どのように表現するかについて思いや意図をもつことを継続的に指導する必要がある。

主体的に学習に取り組む態度

- 授業で行ってきたグループ活動や、個人での発表を聴き合う活動を通して、友達の表現のよさを伝えたり課題をアドバイスしたりすることや、友達の表現のよさを自分の表現に生かすことができている。それに伴い、意欲的に授業に取り組む児童が増えてきた。
- 児童が意欲的に授業に取り組むために、児童同士で協働し、楽曲にふさわしい表現を追究したり楽曲の特徴やそのよさを理解して鑑賞したりできるよう学習過程や学習形態を工夫する必要がある。

3 授業改善プラン

低学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌うか、演奏するか、作るかについての思いを実現させるための技能と考え、主体的な学習活動としての技能習得となるようにする。 ・音楽を形づくっている要素の理解にあたっては、体を動かす活動を取り入れるなど、実感を伴ってその要素の働きを感じ取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を特徴付けている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る。 ・音楽の要素に着目しながら聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを考える。 ・音楽の要素を手掛かりに表現を工夫したり、曲や演奏の楽しさを見いだしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動を取り入れ、友達と関わり合いながら協働的に音楽学習に取り組むことができるようにする。 ・様々な楽器（鍵盤ハーモニカ・トライアングル・カスタネットなど）やいろいろな楽曲に触れ、興味関心を高めながら主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・学習を振り返り、既習事項を関連させながら学習のつながりを考えられるようにする。
中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌うか、演奏するか、つくるかについての思いや意図を実現させるための技能と考え、主体的な学習活動としての技能習得となるようにする。 ・音楽を形づくっている要素の理解にあたっては、体を動かす活動や比較感受を取り入れるなど、実感を伴ってその要素の働きを感じ取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を特徴付けている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る。 ・音楽の要素に着目しながら聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを考える。 ・音楽の要素を手掛かりに表現を工夫したり、曲や演奏のよさや面白さを見いだしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動などの聴き合う活動を取り入れ、友達と関わり合いながら協働的に音楽学習に取り組むことができるようにする。 ・様々な楽器（リコーダー・木琴・鉄琴・キーボードなど）やいろいろな楽曲に触れ、興味関心を高めながら主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・学習を振り返り、既習事項を関連させながら学習のつながりを考えられるようにする。
高学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌うか、演奏するか、つくるかについての思いや意図を実現させるための技能と考え、表現の工夫と繰り返し関わらせながら、主体的な学習活動としての技能習得となるようにする。 ・音楽を形づくっている要素の理解にあたっては、体を動かす活動や比較感受、要素と要素の関連付けを取り入れるなど、実感を伴ってその要素の働きを感じ取ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を特徴付けている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る。 ・音楽の要素に着目しながら聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを考える。 ・音楽の要素を手掛かりに表現を工夫したり、曲や演奏のよさや面白さを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動などの聴き合う活動を取り入れ、友達と関わり合いながら協働的に音楽学習に取り組むことができるようにする。 ・様々な楽器（既習楽器や和楽器など）やいろいろな楽曲に触れ、興味関心を高めながら主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・題材の第1時に学習計画を把握できるようにし、振り返りを通して自分の学習を調整することができるようにする。